

# 令和8年度新潟市立新潟小学校 学校経営方針

校長 山本 郁雄

教育目標 たくましく 美しく  
～ 挑む力 やり抜く力 認め合う心 支え合う心 ～

## 1 学校運営の基本方針

◎ 「いい学校だね」と言ってもらえる学校をみんなで創ります。

- ・児童にとって、自分の成長が実感できる学校
- ・教職員にとって、自分の持ち味が発揮でき、働きがいのある学校
- ・保護者にとって、安心して子どもを通わせることのできる学校
- ・地域にとって、応援したくなる学校

↓

「子どもも教師も自分のよさや持ち味を発揮し、互いの幸せを実感できる学校」を目指します。

## 2 教育活動の方針

教育活動の土台と3つの柱を定め、教育目標の達成と4つの資質・能力を高めます。

◎教育活動の土台

① 生徒指導上の問題の予防・未然防止

- ・日頃から子どもの話を聞き、問題発生 of 未然防止に努めます。
- ・速やかに組織で対応します。(事実の把握に基づく適切な支援と指導)
- ・子ども自身に考えさせる支援や指導を心掛けます。⇒「認め合う」心の育成。

◎教育活動の3つの柱

① 深い学び

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、深い学びを促す授業に関する研究計画を立て、実践を進めます。
- ・子どもが自ら学びの目標を定めたり、学びを調整したりする過程において「挑む力」の高まりと、「認め合う心」の深まりを目指します。
- ・タブレット端末の利活用により一人一人の学びを支えます。

② 協働的な活動

- ・子ども同士の関係づくりを醸成していくことを目指し、協働的な活動を充実させ、「支えあう心」を育みます。
- ・異学年交流「たんぼぼ班」の活動を充実させたり、「ペア学年」の活動を実施したりして、「認め合う心」を育てます。

③ 適切な支援

- ・通常学級、特別支援学級を問わず、支援を必要としている子どもへの支援体制を構築します。
- ・安心して学べる学級づくりと子どもの多様な個性が生かされる授業や教育活動を

展開し、「やり抜く力」を育てます。

- ・他者の多様な個性を肯定的に受け止め、互いに尊重することで、一人一人の個性を生かします。

### 3 教育活動の基盤として大切にしたいこと

#### ① 地域と協力して教育活動を進める

- ・地域の歴史、文化の継承を担うとともに、地域の様々な素材を学びに生かす。  
⇒郷土や地域への愛情を深める。
- ・特に新潟まつり等への参加や地域商店街や施設、人とのつながりの中から教育活動を進めていくことを大切にしたい。

#### ② ボランティアの協力を得る

- ・保護者や地域の大きな協力を得ながら、教育活動を充実させてきた学校である。  
⇒様々なボランティアの在り方を検討し、多くの方に今後も支援を求めていく。

#### ③ 保護者との連携協力、考え方の共有

- ・学校と保護者が同じ方向を向いて子どもとかかわることを大切にする。
- ・あらゆる機会で保護者とコミュニケーションをしっかりと図り、子どもの指導にあたる。

#### ④ 中学校との連携

- ・9年間の学びを通した目指す子ども像:「よりよい自己と社会の実現に向けて共に挑む子ども」の具現に向けて、「一小一中」のよさを生かした連携を推進する。

#### ⑤ 教職員の well-being の向上

- ・子どもにとって、教職員の笑顔こそが「最大の教育環境」⇒教職員の well-being なくして子どもたちの well-being なし。
- ・互いに力を借りて、力を貸して、ケアしながら。

子どもたちがタンポポのように、しっかり根を張り、  
自分の力で花を咲かせ、未来へと力強く歩いていけるよう、  
みんなで力を合わせていきます。